

徳島県立城東高等学校 令和8年度 キャリア教育全体計画

①必須の要件として詳細に記すもの

各学校が定める目標		
<p>【学校経営方針および教育目標】(3) 学校経営基本方針</p> <p>⑤社会の課題に主体的・創造的に対応できる能力を培い、将来、グローバルに、ローカルに活躍できる人材の育成を図るに基づき、以下の基礎的・汎用的能力を育成する。</p> <p>https://joto-hs.tokushima-ec.ed.jp/Schoolintroduction/managementpolicy</p>		
基礎的・汎用的能力	重点的に育成すべき資質・能力 ※(高1：R8.4/高2・高3：R8.3) 25%以上の生徒が否定的回答(やや当てはまらない/当てはまらない)をしたもの	具体的要素 ※(高1：R8.4/高2・高3：R8.3) 25%以上の生徒が「この1年間で伸ばしたい」と回答をしたもの
【かかわる力】 人間関係形成・社会形成能力	なし	<p>コミュニケーションスキル ：42% (1年：51% 2年：38% 3年：31%) (参考：R7) 53% (1年：61% 2年：41% 3年：47%)</p> <p>【具体的要素】他者の個性を理解する力/他者に働きかける力/コミュニケーションスキル/チームワーク/リーダーシップ</p>
【みつめる力】 自己理解・自己管理能力	<p>自分がすべきことがある時に、喜怒哀楽の感情に流されず行動を適切に律し、それに取り組むことができる</p> <p style="background-color: #FFD700;">26% (1年：22% 2年：25% 3年：30%) (参考：R7) 26% (1年：23% 2年：30% 3年：25%)</p> <p>不得意なことでも、自ら進んで取り組むことができる</p> <p style="background-color: #FFD700;">28% (1年：28% 2年：32% 3年：24%) (参考：R7) 34% (1年：26% 2年：38% 3年：37%)</p>	<p>忍耐力 ：29% (1年：26% 2年：31% 3年：31%) (参考：R7) 26% (1年：28% 2年：23% 3年：26%)</p> <p>【具体的要素】自己の役割の理解/前向きに考える力/自己の動機付け/忍耐力/ストレスマネジメント/主体的行動</p>
【すすむ力】 課題対応能力	<p>何かをするときに、見通しをもって計画し、評価・改善を加えながら実行することができる</p> <p style="background-color: #FFD700;">31% (1年：28% 2年：35% 3年：31%) (参考：R7) 35% (1年：32% 2年：41% 3年：33%)</p>	<p>計画立案 ：26% (1年：21% 2年：27% 3年：31%) (参考：R7) 25% (1年：23% 2年：29% 3年：24%)</p> <p>実行力 ：34% (1年：38% 2年：35% 3年：28%) (参考：R7) 34% (1年：40% 2年：30% 3年：32%)</p> <p>【具体的要素】情報の理解・選択・処理等/本質の理解/原因の追究/課題発見/計画立案/実行力/評価・改善</p>
【えがく力】 キャリア プランニング能力	<p>自らの将来について具体的な目標をたて、社会の現実を視野におさめながら、その実現のための方法について考えることができる</p> <p style="background-color: #FFD700;">27% (1年：28% 2年：28% 3年：24%) (参考：R7) 30% (1年：35% 2年：36% 3年：18%)</p> <p>将来の目標の実現に向けて具体的な行動を起こしたり、それを振り返って改善することができる</p> <p style="background-color: #FFD700;">33% (1年：34% 2年：37% 3年：27%) (参考：R7) 35% (1年：33% 2年：43% 3年：27%)</p>	<p>将来設計 ：52% (1年：51% 2年：58% 3年：46%) (参考：R7) 55% (1年：58% 2年：54% 3年：51%)</p> <p>【具体的要素】情報の理解・選択・処理等/本質の理解/原因の追究/課題発見/計画立案/実行力/評価・改善</p>
教育内容・方法		
<p>【学校経営方針および教育目標】 (4)本年度の具体的目標 に基づき、上記で示す基礎・汎用的能力の育成をはかる</p>		

各教科・科目との関連	
国語・地歴・公民・数学 理科・英語・情報	○「高等学校学習指導要領(平成30年告示)」に基づき、上記で示す基礎的・汎用的能力の育成をはかるための取組を行う
総合的な探究の時間	○【各学校で定める目標】に基づき、上記で示す基礎的・汎用的能力の育成をはかるための取組を行う
特別活動	○「高等学校学習指導要領(平成30年告示)」に基づき、上記で示す基礎的・汎用的能力の育成をはかるための取組を行う

②基本的な内容や方法等を概括的に示すもの

学習活動
○各教科・科目の目標を実現するための学習活動 ○生徒の活動を記録し蓄積する教材等「キャリア・パスポート」を活用した以下の学習活動の実施 ・特別活動の時間を中心とした、各学習活動における生徒の振り返り ・「キャリア・パスポート」に生徒が記載した内容をもとにした、教職員によるキャリアカウンセリング ○自己管理や自己調整する力を身につけるための手帳の活用 ・見通しをもった目標設定と、日々の行動・生活の自己管理としての活用 ・経験や結果の記録と、次の成長につなげる内省・振り返りとしての活用 ・学校祭で校内手帳甲子園（展示・投票・表彰）を実施し、手帳活用好事例の共有
指導体制
○キャリア探究課担当教頭・キャリア探究課長・学年主任・各学年キャリア教育担当者から構成される「キャリア探究運営協議会」を中心に、全体計画・指導計画・研修計画の立案や運営を行う。
学習の評価
○各教科・科目の評価計画に応じた学習評価の実施 ○キャリア・パスポートを活用した以下の評価の実施 ・生徒による自己評価または相互評価 ・キャリアカウンセリングによる他者評価 ○学校評価アンケートや学校運営協議会を活用した学校関係者全体による評価の実施 ※「重点的に育成すべき資質・能力」「具体的要素」及び「学校評価アンケートや学校運営協議会を活用した学校関係者全体による評価」については、数値を学校HP等で公表し、取組状況や達成状況を広く周知する。